

兵庫県ヘリテージマネージャー養成講習会（第14期）講義概要  
 ー自由聴講 講義選択のためにー

この表は、各講義の内容をごく簡単にまとめたものです。十分に内容を表現できているとはいえませんが、自由聴講を申込み際の講義選択の参考としてください。

番号 月日	タイトル	講師	講義内容	備考 (従前との相違)
① 7/1	歴史文化遺産を生活に活かす マネージメント ～ヘリテージマネージャー概論～	沢田 伸 (ひょうごヘリテージ機構代表世話人)	ヘリテージマネージャー (HM) 誕生の背景、定義、役割、これまでの活動を通してHMの使命を考える。	従前どおり
② 7/1	文化財保護法概説・各種補助事業	兵庫県教育委員会 文化財課	歴史文化遺産活用の基礎となる文化財保護法の体系・構成や各種補助制度を学ぶ。	従前どおり
③ 7/15	近現代建築概論	玉田浩之 (大手前大学)	近現代建築史の基礎知識、明治以降の建築における近代化の流れを学ぶ。	従前は、ヴォーリズ建築の修理修復について
④ 7/15	修復概論	足立裕司 (神戸大学)	これまでの保存活用の事例などをおとして、修理・修復の理念と活用のための手法を学ぶ。	従前どおり
⑤ 7/29	伝統的建築物の工法 ～道具と建築～	渡邊 晶 (建築技術史研究所)	おもに、大工道具の変遷から建築技術の発展過程をたどりつつ、伝統的木造建築の歴史を学ぶ。	従前どおり
⑥ 8/5	伝統的木造建築物の技法	神田定秀 (有)播磨社寺工務店)	伝統木造建築の縮尺模型を活用して、その組み立て方法を再体験するとともに、仕口等について学ぶ。	従前どおり
⑦ 8/26	文化財建造物と耐震補強	西澤英和 (関西大学)	建築基準法制定以前の建築物の構造特性を踏まえた耐震補強の考え方について学ぶ。	従前どおり
⑧ 8/26	兵庫の文化財	黒田龍二 (神戸大学)	地域における文化財の発見やその重要性を学ぶ。また、県内の伝建地区を事例として、まちなみ保全について学ぶ。	従前どおり
⑨ 9/9	歴史文化遺産の転用・活用の マネージメント	金野幸雄 (一般社団法人 ノオト)	ヘリテージ活用の最前線。古民家の転用例(宿泊施設等)と事業化の手法について学ぶ。	従前は、兵庫県の景観行政の施策展開について
⑩ 9/9	(演習) 私の好きな町並み	才本謙二 (有)才本建築事務所 他	伝建地区篠山を題材に、伝建地区制度の概要、古民家再生プロジェクト等を学び、再生提案の実践演習を行う。	従前は、伝建地区出石での演習
⑪ 9/23	(演習) 現場演習(文化財修理工事現場)	県教育委員会 (文化財修理工事現場)	指定文化財の修理工事現場において、文化財修理の基本的な考え方と実際を学ぶ。	従前どおり (演習場所については未定)
⑫ 10/21	(演習) ビジネスモデルに学ぶ	西井進剛 (兵庫県立大学)	<b>Business Model Canvas</b> の手法を学び歴史文化遺産を活用した事業化の検討に役立てる。	新規 コーディネーター系必須
⑬ 11/18	(演習) 田園聚景	NPO 法人 H <sup>2</sup> O 神戸、 くさかんむり 他	神戸市北区の茅葺き民家の活用による農村地域活性化にむけての取り組みと課題を学ぶ。	従前は、HMメンバーの代表的な活動事例紹介2例
⑭ 12/16	産業遺産の観光活用 ～ヘリテージツーリズムの つくり方～	前畑洋平 (NPO 法人 J-heritage)	産業遺産の観光活用に向けて、ツーリズムづくりの手法を学び、その有効性、課題などを探る。	新規 コーディネーター系必須
⑮ 12/16	歴史文化遺産活用にむけた 提案のあり方	松原永季 (有)スタジオ・カタリスト)	歴史文化遺産活用にむけた提案事例を交えながら、その基本的な心得を学び、提案力向上を図る。	新規 コーディネーター系必須
⑯ 12/16	レトロ不動産流通の実務 ～エリアディベロッパーと いう仕事～	小泉寛明 (神戸 R 不動産)	古民家の活用を見据えたマッチングの現状と課題から地域活性化の可能性を探る。	新規 コーディネーター系必須
⑰ 1/13	建築基準法の歴史 現行建築基準法と文化財修理	小林賢一 (神戸市)	建築基準法の歴史を確認しつつ、歴史的建築物が抱える法的な問題(既存不適格等)を考える。	従前どおり
⑱ 1/13	歴史環境の整備	八木雅夫 (国立高専機構)	歴史文化遺産の保存から活用に至るプロセスで考えるべき視点をもとに歴史的環境の整備を学ぶ。	従前どおり
⑲ 1/27	アートマネージメント	小國陽佑 (NPO 法人芸法)	神戸市長田区を舞台に展開しているNPO 法人芸法の活動を現地学び、アートとの接点を探る。	従前は、移民センターでCAPの活動について
⑳ 1/27	文化財と防災	村上裕道 (兵庫県教育委員会)	文化財の防災に関する最近の動向を学び、既存法体系の活用やハード・ソフト両面にわたる安全対策を考える	従前どおり
㉑ 1/27	まちづくり活動史	三輪康一 (神戸大学)	これまでの兵庫県におけるまちづくり活動を概観しながら、地域との連携の重要性を学ぶ	従前どおり

※ 10月7日、11月4日、12月2日に予定している建築系必須講義(実測図作成に関する演習)については、原則として自由聴講の対象から外しておりますが、場合によっては受講を受け入れることもあります。講習会開始後に直接スタッフまでお申し出ください。(申込時に自由聴講としての受付はいたしません)